

たましろの郷後援会役員会

2014年は大変お世話になり、ありがとうございました。2015年もどうぞよろしくお願いいたします。

2015年度のたましろフェスタは新宿で行います。楽しい企画を考案中です!! みなさまお楽しみに…

施設から

・12月28日から1月4日までは冬休みです。冬休みでも家に帰れないなかまが10人ぐらいいるのでぜひ施設に遊びに来てください。手ぶらでももちろん構わないのですが、できればなにか持参していただくとなかまと一緒に楽しめるのでありがたいです。

事務局から

- ・2014年度会員数…個人：1017名（新規1名）1077口
団体：49団体 82口
募金箱：48個回収 ¥1,597,460（11月30日現在）
- ・たましろカレンダーまだまだ販売中です!! ご希望の方は後援会事務局までご連絡ください。

TEL/FAX 03 - 5468 - 3613

e-mail tamasiro@athena.ocn.ne.jp

(文責 戸部)

参政権保障委員会報告(2014/12/25)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期的に委員会を開催しています。

●12/14は衆議院選挙投票日でしたが、皆さんは投票に行かれたか?

衆議院が解散し、12/14に選挙が行なわれました。参政権保障委員会では、12/13(土)16:00~19:00にスマイルなかのにて、政見放送のビデオ上映会を開催いたしました。30名近い方の参加がありました。手話通訳の手配や字幕の準備でとても忙しかったのですが、かろうじて実施することができました。

各政党の政策を知るためには、このビデオ上映会はとても重要です。聞こえない人への情報保障を目指して、これからも継続をしていきたいと思っております。みなさまも是非ご参加下さい。

東京青年会議所への要望書や各政党への公開質問状の郵送は、これからも東京都聴覚障害者連盟と共に運動を進めていきたいと思っております。また、投票所に設置してある、コミュニケーションボードについてのアンケートを各サークルに配信してあります。

東京都選挙管理委員会との懇談会で参考にしていきます。是非ご協力をお願いします。

次回は、1月19日の予定。

(文責 高田)

広報班の活動報告

～学祭巡り感想～

私が都サ連の委員として大学生サークルと連絡を取り合い始めてから、毎年秋は大学祭巡りの季節になりました。

学生さんたちと直接会える数少ない機会として、関係を絶やさないために挨拶に行ったり、連絡先の交換をしに行ったり、奔走しています。

どこの団体も、手話歌や手話劇などの発表をしたり、事情により交流スペースの提供だけだったり、はたまた喫茶店を催した上で色々な発表をしたりと、それぞれの精一杯で準備や練習を頑張った様子がよくうかがえました。

発表の定番の手話歌ではどの団体も、直訳ではなく意味をつかんだ翻訳をされていて、「あ～この歌詞はそういう解釈もできるのか」と意表をつく翻訳に感心することもよくあり、私自身勉強になりました。また、手話歌というと聞こえない人は敬遠しがちですが、同行者と「これなら聞こえない人でも楽しめるね～」と驚くほど、振り付けや衣装なども工夫された、パフォーマンスとしてレベルの高いものもありました。

学祭は、学生たちがどういう環境の中で手話を学習しているのかを知ることができる機会でもあります。

みなさん、忙しいところお邪魔したにも関わらず、暖かく対応してくれました。

来年も学祭開催案内をいただき次第、事務局から配信する予定でいます。

ご都合がよろしければぜひ足を運んでみてください。

秋の週末のキャンパスで、お会いしましょう。

(文責 広報班 大木)

手話言語法制定を求めるパレードに参加して

12月12日(金)、手話言語法制定を求めるパレードが東京で行われました。

心配だった前日の雨も上がり、全国から700人以上の人が日比谷公園に集まりました。

我が墨田区からは、ろう協・手話サークル・手話講習会受講生・要約筆記サークル等合わせて30人位が参加しました。手話サークル「すみだ」の定例会はちょうど金曜日なので、この日は昼サークル定例会としてパレードに参加しました。平日のため仕事で参加したくてもできない人の思いもこめて、墨田では色々な表情のプラカードを作りました。裏をオレンジにして、今回統一された文字「手」「話」を書き、防災バンダナを巻いて全員で持ちました。これで気持ちは倍の人数参加です。

「オレンジ」がイメージカラーだったので、現地に向かう電車の中から自然にオレンジ色が目に入り、「あの人もパレード参加者かしら?」と思ってしまいました。霞が関の駅に降り立つと、あちこちにオレンジ色を身に付けた人、プラカードを持った人が目に飛び込んできました。

申し込みしていた全日本ろうあ連盟が準備したタツノオトシゴマーク入りのオレンジ色の手袋を受け取り、出発を待ちました。スタート地点の霞門を出発し、新橋を通り、銀座まで歩きました。

聴覚障害者がたくさん参加していますから、一般のデモ行進に比べると、静かなシュプレヒコールでしたが、参加者の気持ちは熱いものがありました。シュプレヒコールが聞こえなくても前列が「おー!」と拳をあげると力強く一緒に拳をあげてアピールしながら歩きました。また隣を歩くろう者にアイコンタクトで拳をあげるタイミングを知らせながら歩くと更に連体感が強くなりました。

ビルの窓から仕事の手を休めて手を振ってくれる人、沿道から声を掛けてくれる人もいました。

「手話を学び始めてテキストで知ったろう者の歴史。ただ丸暗記していただけであったが、ろう者が希むカタチに少しずつだけ確実に動いているのだと思った。ずっと一緒に活動していきたい。」

と感想をくれた参加者もいました。

一般市民や政治へのアピールはもちろん、参加した人たちの心にも改めて大切なことが届いたのではないかと嬉しくなりました。

今後もろう者と共に、一人の力は小さくても、このパレードのようにみんなの力を結集して困難を切り開いていこう!と決意を新たにしました。

(手話サークル「すみだ」)

広報班の活動報告

サークル訪問記

～帝京大学手話サークル「poco a poco」～

11月13日(木)夕方6時、帝京大学手話サークル poco a poco の活動に訪問してきました。

場所は、八王子の中心より多摩市などの境に程近い、帝京大学八王子キャンパス。高幡不動や、多摩センター、聖蹟桜ヶ丘などからバスが出ているようですが、地元だったので自転車で行ってきました。

帝京大学は、以前からもう一つのサークル com&com とは連絡が取れていましたが、poco a poco とは今年の11月の学祭に連絡先交換が出来たばかりです。サークル員は全部で10名弱。その日は難聴学生1名、健聴学生3名、合計4名の参加でした。

活動は毎週月曜、木曜、金曜の3回行っているようで、今回お邪魔できた木曜日はまた集まりの少ない曜日だったそうです。

普段の活動としては、その時々に合わせて交流やゲームを土台に手話での会話を重ねていく方法、とのことでした。

その日はゲーム「フルーツバスケット」。椅子取りゲームの類で、お題の発表者とそのお題に当てはまる人たちが混ざり合って椅子を取り合うゲームです。

「黒い服を着ている人!」などの無難なお題から始まり、次第に「運転免許を持っている人!」や「今年のクリスマスに予定のない人!」など話題性のあるお題に傾き、お題を発表する時はなんらかの自己紹介をするルールが途中で加わり、そのうち発表者以外の人についても話して、確かにゲームそのものよりもそれらの会話の方が中心でした。

会の終わり際には、あらためて都サ連としての自己紹介と、すぐ後にある他大学の学祭情報、地元八王子で開催される第61回東京都聴覚障害者大会、それと2015年1月18日(日)都サ連一日研修会の件など、情報提供、お知らせをさせてもらい、解散しました。のんびりとしながらも少人数ならではの小回りのよく効く、帝京大学手話サークル poco a poco でした。

(文責 広報班 大木)



本年もよろしくお願ひいたします。